

第 1451 回例会報告

平成28年3月10日(木)晴れ

会長挨拶

会長 御子柴文夫

道半ばの

東日本大震災復興支援に思う。

岡谷小学校が耐震対策と子供の減少により閉鎖され、田中小学校が岡谷田中小学校と改称され、岡谷小学校児童は岡谷田中小学校と神明小学校に分かれて通学することとなりました。

田中小学校では授業終了後の放課後も児童を預かる学童クラブの整備を行い、子育て世代のお母さん達が安心して就業できる体制を整備しておりました。

しかし、都会では核家族が進んでいるにもかかわらず乳幼児の保育園を初め整備が進んでいないため、女性が職場復帰できない状況になっております。

1 億総活躍と政府が叫んでみても 政府が行うべき子育てに対応できる基盤づくりが進んでいないため天に唾する状況になっております。基盤づくりは施設の準備や乳幼児保育士の待遇改善など多岐に亘っての施策が必要なため費用も時間もかかりますが行政体には真剣に対策を進めて欲しいものです。

しかし名古屋市議会では十分な対応も討議も進めていないのに市議の給与増額を素早く決議し

ております。東京都では一人 300 万円近い費用をかけて 20 名ほどで数日間の海外視察を繰り返しております。つくづく悪代官の国だと思えます。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の津波による社会基盤の流失と消失に対する復興は 5 年経過後の今も まだまだ応援の必要な状況にあります。私共も組織を通じての援助の他に 被災者に直接の個別支援を行ってまいりました。その一つの復興マドレーヌは結構うまく展開している様子がインターネットホームページで伺え喜ばしいかぎりです。 当会会員の長崎酒店又はステップ河西さんに注文すれば入手できますので購入の支援をお願いします。

しかし福島は目途が立たない状況にあります。メルトダウンした原子炉底のことは誰にもわかりません。終息させる計画も 30 年 40 年と延長されておりますが希望の計画に過ぎないと言えます。

放射能によっては半減期が 30 万年、無害になるには何時までかかるのか地球の存在もわからない期間となります。

私自身は死ぬまでに少しでも安心できたらと願うのみです。

そんな中、御柱祭です。全てを忘れて奉仕しましょう。

4 月 9 日木落し観覧に 27 名の大津中央ロータリークラブ会員がお見えになります。夜は交流会を兼ねて家族懇親例会を催します。

個々に忙しい祭りの中ですが接待に力添えをお願いします。

頃出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	26名
出席率	70.3%
前回修正	83.8%

■ニコニコ BOX

1名	1000円
累計	382000円
目標額	60万円
達成率	63.6%

■今週のこぼ



2015-2016 年度 国際ロータリーテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

◇幹事報告◇

【報告事項】

1) 3月9日小諸ロータリークラブへ、溝口、渡邊、高林、西澤の4名でお伺いし、ピアノカ27台をいただてきました。



2) 2600地区から地区役員委嘱状が届きましたので御子柴会長より伝達いたしました。本年度渡邊芳紀会員は、国際奉仕委員会委員長大澤邦彦会員は、諏訪湖グループガバナー補佐小松孝弘会員は、ロータリー財団補助金小委員会委員、蒲地整志会員は、ロータリー財団資金管理会計小委員会委員としてご苦労いただきます。皆さんで協力しましょう。



3) 2週続けて岩村会員からお花のプレゼントが届きました。本当にありがとうございます



委員会報告

【社会奉仕委員会】

3月13日(日)午前6時45分より諏訪湖ロータリークラブ単独の諏訪湖清掃を行いました。

当日は曇りでしたが、雨の心配は全くなく、御子柴会長奥様、見かねた一般の方を含め、18名での清掃活動でした。「心してくるよう」と渡邊さんのおっしゃる通り、相当なゴミで時間にして約2時間、休みなしの清掃をしました。ゴミ袋にして40個ほど、250Kgの大量のごみを処理できました。

御柱など観光に来た方がきれいな諏訪湖に感動してくれるものと思います。皆様のご協力に感謝をします。

次は5月の和田峠清掃と、6月の里山整備です。よろしくお願します。



本日の3分間スピーチ

本日の3分間スピーチは高山巖会員でした。長年の愛読週刊誌である「新潮」の記事から藤原正彦(新田次郎、藤原てい夫妻の次男)の話題を取り上げていただきました。



今月の結婚祝



今月の結婚祝いは、渡邊、北原、萩田の3会員でした。

第 1451 回例会

健康診断と健康卓話

平山隆勇会員・小笠原仁会員

職業奉仕委員会

本日は恒例の会員健康診断でした。健康診断は平山会員にご苦労いただき、健康卓話は小笠原会員が担当しました。

小笠原会員の卓話は、時折関係ないお話を挟む独特の手法で楽しく聞くことができました。両会員ご苦労様でした。



本日は健康診断お疲れ様でした。血液データは是非とも前回の数値と比較をして頂きたいと思えます。多少正常値から外れていても個人差がありますので、問題がない場合があります。逆に正常値の範囲に入っても前回の数値とかなり違う場合は何か体に異変がある可能性があります。

今回のオプション検査の前立腺の腫瘍マーカーのPSAは前立腺がんの唯一の早期発見検査方法です。定期的なチェックをお願いします。しかし、人間ドックなどではPSA以外にも様々な腫瘍マーカーがオプションでついてくると思いますが、PSA以外はほとんど必要ないと思えます。腫瘍マーカーが高いからといって、必ずガンがあるわけではありませんし、逆に低いからといって大丈夫ということもありません。当然、早期がんでは腫瘍マーカーが上昇することはほとんどありません。腫瘍マーカーとは本来ガンを探すための検査ではなく、手術や抗がん剤などでガンの治療をした後の治療効果をみるためのものです。

これと同じように過度な効果を期待され誤解されているものにPET検査も挙げることができます。PET検査は実際の医療ではガンかガンではないか判定がつかない時に、傍証として行うことがあります。



ますが、これもガンを探すための検査ではありません。よってPET検査で小さいガンを発見するのはほとんど不可能です。肺癌ならレントゲンやCT、胃や腸なら内視鏡、肝臓、膵臓はエコーやCTなど、個々のガンにあった検査に勝るものはありません。また、乳がんは70%が自分で触診することにより発見されていると言われています。女性は乳房の自己検診を定期的に行ってください。一か月に一度、定期的に行うことが大事です。

(先週号3ページと差し替えです。宮沢会員の撮影した写真が手違いで迷惑メールに仕分けられていました。写真入りと差し替えま